

# 地域包括ケアシステム

個々の高齢者の状況やその変化に応じて、介護サービスを中核とした様々な支援が継続的かつ包括的に提供される仕組み

## 継続的な支援の提供

高齢者の状態の変化に対応した継続的なサービス提供

退院→地域  
地域→入院

ターミナルまで  
在宅生活を支える

- ・ 医療を含めた多職種連携、365日・24時間の安心の提供
- ・ 医療保険・介護保険によるサービスの組み合わせ

## 介護保険

### ケアマネジメント

#### 高齢者 - ケアマネジャー

- (プロセス)
- ①アセスメント
  - ②プランニング
  - ③ケアカンファレンス(多職種協働)
  - ④モニタリング

## 包括的な支援の提供

困難事例等への支援  
(介護保険外の様々な社会支援を必要とするケース)

## 多職種協働・住民参加

- ・ 保健、福祉、医療の専門職相互の連携
- ・ ボランティア等の住民活動も含めた連携

## 連携と連絡調整

コーデイネートを行う機関

- ・ 在宅介護支援センターの役割の再検討と機能強化

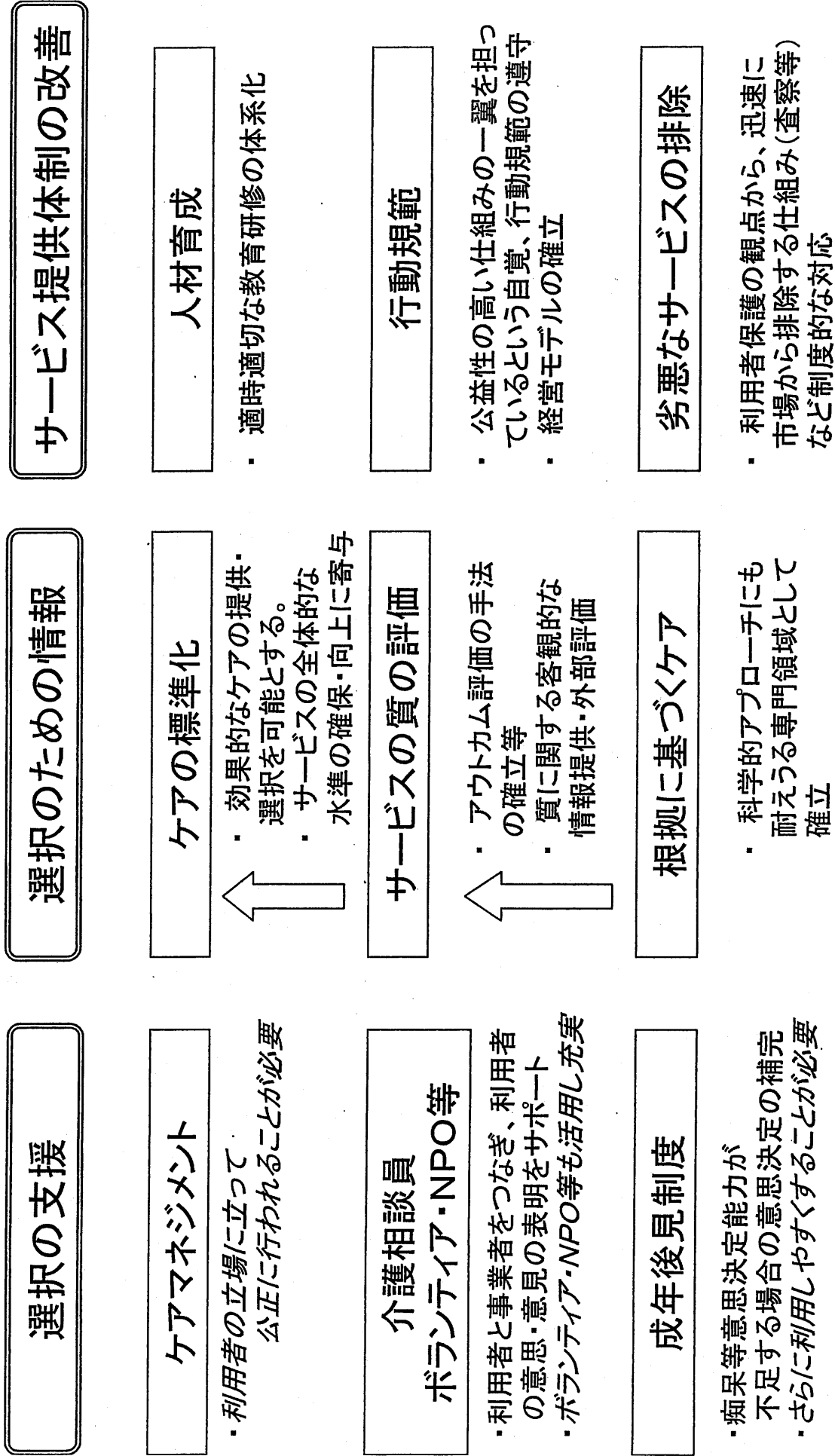
(現状のケアマネジメントの立て直し)

ケアマネジャーの資質向上  
プロセスの確実な実施

：業務の標準化  
困難事例等への支援：環境整備  
中立・公正の確保

※ケアマネジメント：高齢者の状態を踏まえた総合的な援助方針の下に必要なサービスを計画的に提供していく仕組み

# サービスの質の向上：高齢者の選択による



# 介護予防・リハビリテーションの充実

## 視点と意義

- ・より自分らしく生きがいのある充実した人生を送ること
- ・高齢者自身が地域社会での助け合いの仕組みの主体となること

## 検証と対応

- ・介護予防を広い概念としてとらえ、社会参加・社会貢献・就労・生きがいづくり・健康づくりなどの活動を社会全体の取組として進める
- ・老人保健事業や介護予防事業におけるサービスの検証、真に予防に効果がある新たなプログラムの開発

## 介護サービス提供における留意点

- ・高齢者自らが健康づくりや介護予防に取り組む
- ・高齢者相互の助け合いの仕組みを充実させていく

## リハビリテーション

- ・過去の生活への復帰ではなく、将来に向かって新しい人生を創造していく
- ・潜在能力を引き出し、生活上の活動能力を高め、豊かな人生を可能とする

・要支援者に対する予防給付、医療保険・介護保険におけるリハビリの検証、真に予防に効果がある新たなプログラムの開発

- ・要介護度のステージ等に応じた要介護状態の悪化の防止・軽減のための施策の体系の構築
- ・急性期から回復期の医療分野と維持期での介護分野とが、川上・川下の関係で相互に連携しあう体制の構築

・心身機能や日常生活自立度を高めてから他の介護サービス等で補う「リハビリテーション前置」の考え方に立つ必要

- ・日常生活における活動の自立度向上を重視した個別プログラム
- ・施設のリハビリは自宅復帰の可能性を常に考えたものでなければならぬ